

表彰区分	マロニエ建築賞	
作品名	宇都宮駅東口交流拠点施設（ライトキューブ宇都宮） 宇都宮駅東口交流広場（宮みらいライトヒル）	
所在地	宇都宮市宮みらい1	
用途	集会場	
建物概要	構造：S造、RC造	敷地面積：9,403.31㎡
	階数：地上4階	延べ面積：11,485.36㎡
建築主	栃木県宇都宮市旭1-1-15 宇都宮市	
建築主	東京都新宿区西新宿1-26-2 野村不動産株式会社	
設計者	栃木県宇都宮市明保野町2-10 AIS アールアイエー隈設計共同体	
施工者	埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-75-1 前田・渡辺・中村・増渕建設共同企業体	
講評	<p>駅東口地区整備事業の一環として、駅前の交流広場と一体的に計画整備されたコンベンション施設である。宇都宮駅東口に接続し、降り立つ人々を受け入れる広場と大階段は、適度な囲まれ感やスケール感が与えられ、人々に動きや滞留を促し、東口全体につながり感や賑わい感、落ち着き感を創出している。採掘場をモチーフにしたという大谷石による外壁面がさりげなく目に入ることによるこの街らしさの演出や、新たに開業した宇都宮ライトレールの停留場とのつながりを意識したプランニング、上下レベルに立体的に設定された複数の広場との関係などにより、奥行き感のある心浮き立つ場になっている。コンベンション施設として、ダイナミックな動勢を表出するルーバーなどの特徴的な外観とともに、様々な使用方法に対応する合理性を追求した配置計画により、機能的かつ品位ある施設に仕上がっている。総じて、駅前に計画された交流拠点施設として、県内外の人々の交流の活発化を大いに期待させる空間と機能を備えた施設となっており、高く評価された。</p>	
	 <p>©川澄・小林研二写真事務所</p>	

表彰区分	マロニエ建築賞 環境にやさしい建築賞	
作品名	TD テラス宇都宮	
所在地	宇都宮市泉町 1-29	
用途	事務所、銀行の支店	
建物概要	構造：RC造、W造	敷地面積：2,056.91 m ²
	階数：地上4階	延べ面積：2,447.73 m ²
建築主	東京都千代田区有楽町 1-13-1 第一生命保険株式会社	
建築主	福島県福島市大町 3-25 株式会社東邦銀行	
設計者	東京都中央区京橋 2-16-1 清水建設株式会社一級建築士事務所	
施工者	東京都中央区京橋 2-16-1 清水建設・渡辺建設共同企業体	

講評

宇都宮大通り沿いに立地する1階に銀行店舗、2-4階に生命保険の事務所が入る中層建築物である。地域経済への貢献を旨とする両事業者が、協同での新拠点建設において、地域資源である木材の利用に取り組んだところに特徴がある。通りから奥側をRC造、手前側を木造という平面混構造とし、耐震壁付きRCラーメン架構に地震力を負担させることで、10m スパン一方向ラーメンの木架構を実現している。木造部分の構造材に福島県産カラマツ、仕上げ材・CLT 合成床版に栃木県産スギを用いて、木材の材積で約306m³、CO₂換算で約206tの炭素貯蔵量を達成していると示されている。ファサードには、軒天井をスギのCLTパネルで仕上げた、休憩に使用できるバルコニーを廻して、木構造をアピールしつつ柔らかなイメージを通りにもたらししている。銀行業界・生命保険業界初の中層木造オフィスとされており、木材の積極的利用による脱炭素社会への先駆的で優れた取り組みと評価された。



表彰区分	マロニエ建築賞 優良賞	
作品名	足利の家	
所在地	足利市元学町	
用途	一戸建て住宅	
建物概要	構造：W造	敷地面積：395.74 m ²
	階数：地上2階	延べ面積：222.73 m ²
設計者	東京都世田谷区玉川台 1-5-10 あか尾ビル 4F 株式会社 K+S アーキテクト	
施工者	群馬県前橋市上小出町 1-31-2 ジュネシオン小出 106 株式会社オムニバス	
講評	<p>足利市市街地にほど近い、閑静な住宅街に建つ戸建て住宅である。敷地は東側が道路に面し東西方向に長い矩形で、それに対しどのように内部空間を設定して日射をうまく導き、庭との関係を築くかが大きなテーマであると思われた。それに対して、南側から西側に取り巻くように設定された庭と、北東に緩やかにまとめられた建物が、多方向につながることで様々な場の変化をもたらしている。内部空間においては、若干レベルが下げられて親密感が演出されたりリビングスペースを中心に、奥方向にはダイニング、キッチンが連続してつながり、上階に向かって吹き抜けを取り巻くように上昇していく階段を通じて個々のスペースにつながって、家全体が一体感をもった空間になっている。変形プランに対し、包み込むように切妻屋根に架けて、おおらかに一体感を強調している。街路に対して、建物の妻側に接続したガレージの屋根を大きく差し掛けて、通りから垣間見れる庭とともに、ゆったりとしたイメージをもたらしている。住まい手が生活に明確なイメージをもち、それに設計者が的確かつ柔軟に応答して伸びやかな生活空間をつくり出している点が評価された。</p>	
	 <p>©上田宏</p>	

表彰区分	マロニエ建築賞 優良賞	
作品名	壬生町庁舎	
所在地	下都賀郡壬生町壬生甲 3841-1	
用途	庁舎	
建物概要	構造：RC造、PCaPC造	敷地面積：21,663.40 m ²
	階数：地上3階	延べ面積：7,678.59 m ²
建築主	栃木県下都賀郡壬生町壬生甲 3841-1 壬生町	
設計者	東京都大田区羽田旭町 10-11 MFIP 羽田 3F 株式会社梓設計	
施工者	栃木県日光市大桑町 138 東武・佐藤特定建設工事共同企業体	

講評

県央南部に位置する人口4万人ほどの町の中央部に移転・新築した庁舎である。ゆとりのある敷地を活かして、低層に抑えて伸びやかに配置している。町民が最も利用する窓口業務を1階に集約した町民ロビーは、柱のない60m×18mのワンルームの大空間となっていてアクセスのしやすさを担保しており、このスパンを確保するためPCaPCによる梁が採用され、柔らかな光による演出によりリズムカルな心地よさを空間に与えている。2階には、1階の執務空間や町民ロビーを見渡せる災害対策本部のスペースを設けていたり、3階の議場には県産檜や杉が用いているなど、特徴的な空間づくりがなされている。環境配慮対応においては、町民ロビーの吹き抜け部分に自然換気を可能とする窓の設置や、床吹き出し方式の空調の採用に加え、南外壁面の構造アウトフレームによる日射負荷抑制をするデザインの採用は特筆すべき点である。「町のリビング」とされたコンセプト通り、町民の交流の場としてどのように活用されていくのか、今後が注目される。全体として、これからの時代の庁舎として、様々な観点に配慮が行き届いた建物になっており評価された。



表彰区分	マロニエ建築賞 優良賞	
作品名	NOT A HOTEL NASU	
所在地	大田原市狭原 1291-7	
用途	ホテル	
建物概要	構造：RC造	敷地面積：7,850.40 m ²
	階数：地上3階	延べ面積：764.47 m ²
建築主	東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-11-8 NOT A HOTEL 株式会社	
設計者	広島県広島市中区猫屋町 8-17 SUPPOSE DESIGN OFFICE 株式会社	
施工者	栃木県日光市大桑町 138 東武建設株式会社	

講評

那須地域（大田原市）に所在する別荘的な形態をもったホテルである。同系列が全国に展開する5ヶ所のホテルのうちの一つであり、共同オーナーやメンバーあるいは一般客の利用が想定されている。周囲はいわゆる観光地ではなく、穏やかな風景が広がる牧場の縁の高台に建てられており、この地域ならではの魅力を感じさせる見事な眺望を館内各所から見晴らすことができる。メインの2棟は、一方がコールテン鋼を全面的に使用した外観で、もう一方はコンクリート打ち放し仕上げになっており、周囲の風景に溶け込みつつも時間を超えた俊然とした存在感を示している。自然との一体感が重視されながら、内部空間は各種設備が完備されており、滞在者同士の賑やかな交流やプライベートな静かな時間など様々な居場所が用意され、どのような過ごし方が豊かな時間であるのか、立地環境の選択を含めて新たな価値観を示すような場として提案されており評価された。



©Kenta Hasegawa | 長谷川健太